
魔物使いになったようです。

ツキカゲ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔物使いになったようです。

【Nコード】

N2129BA

【作者名】

ツキカゲ

【あらすじ】

いつも通りに帰宅した彼は、いたって普通の学生（ツッコミ気質）
。しかし、そんな彼を出迎えたのは……顔が『・・・』
こんな感じ）の物体だった！？ 数匹の魔物を従え、彼の行く道は
！？ 毎週金曜日更新予定です。

？：始まりは唐突に（前書き）

始めまして。 ツキカゲと申します。

処女作なので、大目に見て頂ければありがたいです。

？…始まりは唐突に

今日も、いつも通りに学校に行って、いつも通りに授業を受ける。

そしていつも通りに家に帰って、いつも通りに玄関の戸を開ける。

「……………(ぶるぶる)」

「……………」

すると、いつも通りじゃないものが現れた。

「……………(ぶるぶる)」

「……………」

「……………(ぶるぶる)」

「……………」

「……………(ぶるぶる)」は？

そこに居たのは……………正面に『……………』って書いてある、プル
プルした青いお饅頭だった。

「何だコイツは……………？」

「ピュホイ (ぴょんっ) ()」

「っ!?(ビクッ!)」

謎の物体Xが鳴いた。

謎の物体Xが跳ねた。

どつやら生きているようだ。

(……って、何を冷静に実況しているんだ僕は!)

……っと、取り乱すな僕! 冷静に、あくまで冷静に今の状況を整理するんだ。

いつも通りに家に帰る

謎の生物Xに遭遇

今の状況

「駄目だ…… 全く訳がわからない……」

「ピュイ?」

自分の理解力の無さに軽く絶望していると、何かが頭に浮かんだ。

『 生物Xが心配そうにこちらを見ている……』

癒されますか？

はい

いいえ』

「何だこりゃ！？ ツッコミ所が多過ぎるぞ！？」

『癒されますか』って何！？

そもそも、何この選択肢！？

ってか、心配そうに見てるんだったら今の状況を説明してくれえ
！！

~~~~しばらくお待ちください~~~~

……さて。 とりあえず、『はい』を押すようにイメージしてみ  
る。

『 はい 』 『 いいえ 』 『 ポチッ 』

あ。 押せた。

「ピュイ〜 (キラキラキラキラ……)」

生物Xが、キラキラした目でこっちを見てる……

癒されるなあ〜……

「……ん？」

また、頭に選択肢が浮かぶ。

☐ 生物X スライムが仲間になりたそうにこちらを見ている……

仲間にしますか？

はい

いいえ  
☐

「へえ。アンタ、『スライム』っていつのか。……ってちょっと待て！」

スライムってあれか！？

RPGとかによく出てくる雑魚か！？

ゲームの住人が、何でこんな所我が家にいるんだ！？

「仲間にしますか」ってどういう事だ！？ ……ってそういう事か。

ってか、『仲間』って何！？

今から、『スライム引き連れてゲーム世界に召喚されちゃいました』ってなんのか！？

どういう事だ説明しろ作者あゝ！！

『 はい 』 いいえ 『 ポチッ

あ。押しちゃった。

『 スライムが仲間になった！

貴方は異世界に召喚された！ 』

「……………はい？」

異世界？ 召喚？ 何それおいしいの？

キョトンとしている俺を放置して、いきなり足元に光り輝く魔法陣が現れる。

「ピュイッ ぴょん、ぽんっ」

そして、生物X（断じてスライムとは認めない）が俺の頭に飛び乗り

ガゴン！

「は？ ……ってちょっと待てギヤアアアア！！」

「ピュイッ」



訳のわからぬまま床が抜け、俺は落ちていった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2129ba/>

---

魔物使いになったようです。

2012年1月6日06時48分発行